平成24年度補正
ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金

1. 事業の目的

ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等に要する経費の一部を補助することにより、ものづくり中小企業・小規模事業者の競争力強化を支援し、我が国製造業を支えるものづくり産業基盤の底上げを図るとともに、即効的な需要の喚起と好循環を促し、経済活性化を実現することを目的とする。

2. 補助対象者

① 次表に示す事業者

業　　種	資本金・従業員規模
製造業、建設業、運輸業	3億円以下又は300人以下
卸売業	1億円以下又は100人以下
サービス業	5,000万円以下又は100人以下
小売業	5,000万円以下又は50人以下
ゴム製品製造業 （自動車又は航空機用タイヤ及びチューブ製造業並びに工業用ベルト製造業を除く。）	3億円以下又は900人以下
ソフトウェア業、情報処理サービス業	3億円以下又は300人以下
旅館業	5,000万円以下又は200人以下
（上記以外の）その他の業種	3億円以下又は300人以下

② 企業組合
③ 協業組合
④ 事業協同組合、事業協同小組合、商工組合、協同組合連合会その他の特別の法律により設立された組合及びその連合会

3. 補助対象事業

ものづくり中小企業・小規模事業者が実施する試作品の開発や設備投資等の取組みであり、以下の⑴から⑶の要件をすべて満たす事業であること。

⑴ 顧客ニーズにきめ細かく対応した競争力強化の形態として、以下のいずれかの類型に概ね合致する事業であること

① 小口化・短納期化型
グローバル競争が激化し、顧客ニーズが多様化する中、顧客からの多品種少量生産・短納期化のニーズに対応可能な体制を構築

② ワンストップ化型
複数の技術を組み合わせた一貫生産体制の導入などを通じて、顧客の幅広いニーズに迅速に対応可能な体制を構築

③ サービス化型
長年培った知恵と経験を活用し、顧客のニーズに対して中小企業側から積極的な提案を行うなど、製品以外の付加価値をつけた形での商品提供が可能な体制を構築

④ ニッチ分野特化型
潜在的なニーズがあるにもかかわらず、他社が気付かないまたは市場規模が小さいため参入しない隙間となっているニッチ分野について、ものづくり中小企業・小規模事業者の高い技術力と機動力・柔軟性を活かし、経営資源を集中して競争力を強化する体制を構築

⑤ 生産プロセス強化型
新興国企業との競合や原材料価格の高騰などを背景に、低価格化のニーズに応えるべく、ものづくり中小企業・小規模事業者の柔軟性と技術力を活用して、従来の生産プロセスを見直し、生産性を向上させることで、品質を落とさずに低コスト製品に対抗しうる製品を生産

⑵ どのように他社と差別化し競争力を強化するかについての事業計画を提出し、その実効性について認定支援機関により確認されていること

⑶ わが国製造業の競争力を支える「中小ものづくり高度化法」22分野の技術を活用した事業であること

4. 補助率等

対象経費の区分	補助率	補助上限額	補助下限額
原材料費、機械装置費、外注加工費、技術導入費、直接人件費、委託費、知的財産権関連経費、専門家謝金、専門家旅費、運搬費、雑役務費	補助対象経費の3分の2以内	1,000万円	100万円

ものづくり補助事業

成果事例集

令和元年度版

MONODUKURI

24年度採択

有限会社サンニサン

金属製品製造業

プレスブレーキ導入による金属薄板製缶品製造能力の拡大

背景・目的

青森県の県南地方は、畜産業が盛んなことから食肉加工業者が多いため、当社では、動植油及び鶏ガラ等の食料品を保存・運搬するためのタンク容器類、タンクローリー架装品等の製缶事業を主体としている。

製缶とは、ステンレス鋼、アルミニウム、銅、真鍮等の金属材を切断・溶接等の加工を用いて、立体的な製品を製造することであり、切断や機械加工及び溶接等の様々な工程を伴う。

当社は、レーザー切断機・プレスブレーキ・各種溶接機等を保有しているが、既存のプレスブレーキは下死点調整・加工スピードの調整が困難なため、複雑形状・長尺を必要とする発注については断念せざるを得なかった。

そこで本事業においては、複雑な曲げ角度加工に対応でき、かつ３mまでの金属材加工が可能なプレスブレーキを導入し、製造能力を拡大する計画を実施した。

実施内容

公募申請時では、株式会社相澤鐵工所製「プレスブレーキ APL16031 型機／チターノ８軸」の導入を検討していたが、本事業の実施段階において、あらためて機種選定を行った結果、「プレスブレーキ APL20031 型機／チターノ８軸」を導入することとした。

その理由としては、曲げ長さの加工能力やフレーム内側寸法については両者とも同じであるが、後者は厚物の曲げ加工も可能であることから生産拡大に寄与すると判断したためである。

成　果

製造においては、切断や機械加工及び溶接等の様々な工程を伴い、本事業にてプレスブレーキを導入したことにより、レーザー切断から機械加工までを自社内で一貫生産ができ、高品質・短納期化が可能となった。

例えばステレンス・アルミ等を使用したレストランやホテルの厨房設備の壁一式や建設に必要なパーツ、日展に応募するアーティストから毎年のように芸術作品の製作依頼を受けている。県南は酪農が多く牛乳を集めるタンクローリーの修理も行っている。

また、導入前の機械ではできなかった長さ（3m）の加工が可能になりその分受注（仕事の幅）が増え、ベトナムの電力会社に電線のカバーを納品した事例もある。金属の薄物加工を行う会社が県南では非常に少ないが、技術はトップクラスだと自負しており、実際、受注も増えてきている。細かい作業もあるが、仕上げもきれいであると顧客にも好評を得ており、これも従業員の確かな技術があるからこその成果だと思っている。

導入前の機械は手動が多くその分自由度はあるが、導入した機械はパネルで数値を入力すると同じ精度のものが次々と製造できる。試しをしながら多少の数値修正（ここは長年の経験がやはり必要）をする場合もあるが、一度決定してしまえば安定した精度・スピードで加工品ができた。また、数値を間違ったところに入力するとエラー表示が出るためそのような間違いも少なくなった。

ステンレスの
ブックスタンド

スマホスタンド

曲げたステンレス
このあと円筒になる

有限会社 サンニサン

代表者 / 代表取締役 木戸 征二
創　立 / 平成４年４月
資本金 / 300 万円
従業員数 / ５名

〒039-1208
青森県三戸郡階上町大字角柄折字平 11-107
TEL 0178-88-1399　FAX 0178-88-1390

〈事業内容〉鉄以外の非鉄金属（ステンレス・アルミ・真鍮・チタン・銅等）の 0.8 ㎜から５㎜までの加工製作取付。病院、各公立学校、給食センター、保育園、製氷貯水施設、食糧機器（例：昆布巻自動洗浄カッター）、厨房関係、各工場内のダクト、カバーフード、金属工芸品等を日本全国から相談、受注、納品をしている。

現場の声

新しい機械が入って仕事の
精度・スピードが上がり納期も
早くなり効率が上がりました

新しい機械は一度設定をすると
きっちりと同じものができ上がって
くるので安心です

【今後の展望】

現在は増えた受注を納期に間に合わせ納品するのに手いっぱいですが、性能が高い機械を導入したことで仕事の幅が広がったことにより更に何か新しいことができないか日々検討中です。今後、新しい製品を作り、関東からの受注も徐々に増やしたいと考えています。

今後は会社を大きくし雇用を増やして行きたいと思っておりますが、令和２年３月にベトナムから技能実習生を２名受け入れる予定です。こちらできちんと技術を覚えてベトナムに帰り独立して仕事を始めるなど彼らの持っている夢を実現して欲しいと思います。

代表取締役 木戸 征二